

科目名	空港実務ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	前期の内容の復習も兼ね、引き続き空港地上支援業務従事者としてグランドハンドリング業務に於いての知識を深め、その定着を図る。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空機DOORの操作と注意ポイントを理解し、手順を実施できる。	
	○	○	○	○		航空機のシステムを理解し、ブレーキマンとしての手順を実施できる。	
	○					搭降載の規定を理解し、作業のポイントを説明できる。	
	○					制限区域内の車両運転ができるよう、規定を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	航空機DOOR操作要領(1)					
	2	航空機DOOR操作要領(2)					
	3	航空機DOOR操作要領(3)				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	4	TOWING作業全般					
	5	BREAK作業 ELEC SYS				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	6	BREAK作業 HYD SYS				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	7	BREAK作業 パネルでの操作確認 実技口頭質問				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	8	空港規則(制限区域内の車両安全)				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	9	空港規則(制限区域内の車両安全) 理解度テスト					
	10	CARGO LOADING MANUAL(1)					
	11	CARGO LOADING MANUAL(2)					
	12	CARGO LOADING MANUAL(3)					
	13	CARGO LOADING MANUAL(4)				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	14	CARGO LOADING MANUAL(5)				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
15	後期の振り返り 理解度テスト						
評価方法	(1)定期試験の実施 (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)授業中での実技および口頭質問以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	理解度テスト(筆記/2回)	○	◎				20%
	実技及び口頭質問	○	◎	○	○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	業界地理						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	国内主要空港から就航している都市並びに、その国の地理や世界遺産・国勢等を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	目標						
	○				福岡空港より就航している海外の都市・国について学び、説明ができる。		
	○				関西国際空港より就航している海外の都市・国について学び、説明ができる。		
	○				中部国際空港より就航している海外の都市・国について学び、説明ができる。		
	○				成田国際空港より就航している海外の都市・国について学び、説明ができる。		
○				羽田国際空港より就航している海外の都市・国について学び、説明ができる。			
テキスト・教材 参考図書	プリント対応						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要・シラバス説明			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	2	福岡空港就航の海外の国々・都市の地理①			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	3	福岡空港就航の海外の国々・都市の地理②			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	4	福岡空港就航の海外の国々・都市の地理③			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	5	関西国際空港就航の海外の国々・都市の地理①			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	6	関西国際空港就航の海外の国々・都市の地理②			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	7	中部国際空港就航の海外の国々・都市の地理①			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	8	中部国際空港就航の海外の国々・都市の地理②			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	9	小テスト(確認テスト)① ※1回～8回			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	10	成田国際空港就航の海外の国々・都市の地理①			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	11	成田国際空港就航の海外の国々・都市の地理②			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	12	成田国際空港就航の海外の国々・都市の地理③			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	13	羽田国際空港就航の海外の国々・都市の地理①			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
	14	羽田国際空港就航の海外の国々・都市の地理②			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備(0.5時間)		
15	小テスト(確認テスト)② ※1回～14回						
評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト2回 (3)実施興味を持ったニュース・出来事の発表 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				50%
	確認テスト(筆記/2回)	◎	○				30%
	興味を持ったニュース・出来事の発表	○			◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	業界研究					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	瀧口 恵子	
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアポート科2年					
授業概要	2年間で学んだ専門教育を踏まえ、航空業界で活躍していく人材として各々が選んだテーマをもとに研究を行いパワーポイントの作成をし、プレゼンテーションを行う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					グランドハンドリングの業務の詳細な説明ができる。
	○					航空業界の歴史について説明ができる。
	○					航空業界の歴史を踏まえうえて、今後の動向予想について話ができる。
	○					パワーポイントの作成をし、それを使い発表が出来る。
テキスト・教材 参考図書	プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明				
	2	研究テーマ決め				
	3	研究方法・内容について①				
	4	研究方法・内容について②				
	5	研究方法・内容について③				
	6	研究方法・内容について④				
	7	研究方法・内容について⑤				
	8	パワーポイント作成(1)				
	9	パワーポイント作成(2)				
	10	パワーポイント作成(3)				
	11	パワーポイント作成(4)				
	12	パワーポイント作成(5)				
	13	パワーポイント作成(6)				
	14	パワーポイント作成(7)				
	15	パワーポイント作成(8)				
	16	パワーポイント作成(9)				
	17	パワーポイント作成(10)				
	18	パワーポイント作成(11)				
	19	パワーポイント作成(12)				
	20	パワーポイント作成(13)				
	21	パワーポイント作成(14)				
	22	パワーポイント作成(15)				
	23	パワーポイント作成(16)				
24	パワーポイント作成(17)					

	25	パワーポイント作成(18)					
	26	プレゼンテーション準備(1)					
	27	プレゼンテーション準備(2)					
	28	プレゼンテーション準備(3)					
	29	プレゼンテーション準備(4)					
	30	発表					
評価方法	(1)パワーポイント (2)発表 (3)出席状況を意欲点として評価以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	パワーポイント	○	◎				10%
	発表	○			◎		80%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、不合格(D評価)とする。						

科目名	業界総合演習						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	空港地上支援業務従事者としての意識を向上させ、企業が求める安全運航に対し高い意識と感性を備えた人財を養成する。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					安全、セキュリティの重要性を理解することができる。	
	○					現場で求められる人材に必要な業界知識と意識を身に付けることができる。	
	○	○		○		現場で活用できる資料の作成を行うことができる。	
	○	○				企業に必要なコンプライアンス・業績管理などを理解し考えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	企業のコンプライアンスについて(1)					
	2	企業のコンプライアンスについて(2)				企業理念を理解し、発表するための予習を行う(1時間)	
	3	企業理念について (各自発表)					
	4	フィロソフィ					
	5	航空保安・BAGのセキュリティ(1)					
	6	航空保安・BAGのセキュリティ(2)					
	7	航空機の安全運航 LMの業務(1)					
	8	航空機の安全運航 LMの業務(2)					
	9	搭降載制限・危険物搭載(1)					
	10	搭降載制限・危険物搭載(2)					
	11	搭降載・危険物資料作成(1)					
	12	搭降載・危険物資料作成(2)					
	13	搭降載・危険物資料作成(3)					
	14	理解度テスト					
15	NLLモバイル						
評価方法	(1)定期試験の実施 (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)授業の中で課題(資料作成)以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				60%
	理解度試験(2回)	◎	○				20%
	課題(資料作成)	○	◎		○		20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	WINDOWS演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	パワーポイント作成の技術を身に付け、作成したパワーポイントを使いプレゼンテーションを行う。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			表・グラフの作成ができる。	
			○			図・クリップアート・ワードアートの挿入と加工ができる。	
			○			アニメーションの設定・画面の切り替えができる。	
			○			画像の加工とマルチメディアの活用ができる。	
		△	○			作成したパワーポイントを使ってプレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Power Pointの基礎知識、基本的なプレゼンテーションの作成					
	2	基本的な何プレゼンテーションの作成・練習問題					
	3	表の作成・練習問題					
	4	グラフの作成・練習問題					
	5	図・クリップアート・ワードアートの挿入・練習問題					
	6	アニメーションの設定、画面の切り替え・練習問題					
	7	画像の加工・練習問題					
	8	マルチメディアの活用・練習問題					
	9	練習問題(提出課題作成)					
	10	卒論プレゼンテーション作成_発表に使える機能・データ収集					
	11	オリジナルプレゼンテーション作成のためのデータ収集・作成					
	12	オリジナルプレゼンテーションの作成					
	13	オリジナルプレゼンテーションの作成					
	14	オリジナルプレゼンテーションの発表					
15	オリジナルプレゼンテーションの発表						
評価方法	(1)授業内で与えた課題の提出 (2)プレゼンテーションと作品の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出				◎		50%
	プレゼンテーションと作品の提出				◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は単位を与えない。						

科目名	一般教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	社会人基礎力養成として、2年間の一般教養の授業の総まとめとして実施。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					主な国際機関について、その活動内容を理解し説明することができる。	
	○					漢字検定2級程度の漢字の読み書きができる。	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる。	
	○					四則演算と基礎的なSPI問d内に正確に解答することができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要・シラバス説明、第1回(国際機関とその活動、世界遺産)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	2	第2回 英文空所補充、英・日ことわざ				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	3	第3回 英文空所補充、SPI問題				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	4	第4回 漢字の知識、名数、歴史				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	5	第4回 英文空所補充、SPI問題				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	6	第5回 漢字の知識、読解問題、経済				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	7	第6回 漢字の知識、SPI問題、英文和訳				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	8	試験					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
評価方法	(1)定期試験 (2)出席状況を意欲点として評価 (3)宿題・レポート 以上を、以下の観点・割合で評価委する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○					80%
	出席状況				○		10%
	宿題・レポート (原稿用紙2枚以上/1回)	◎			○		10%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語ⅡB					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアポート科2年					
授業概要	前期に引き続き、復習をベースにTOEIC350～400に必要な英語の基礎を学ぶ。基本的な文法の知識の確認を行うと共に、比較的簡単な長文の読解を目指す。音読練習も加えたリスニング練習を反復的に行うことで、資格試験のみならず、日常会話に必要な力も伸ばしていく。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					下記に記した文法事項について説明ができる。
	○					長文を読み概要を掴むことができる。
	○					比較的短い対話文やアナウンスを聞いて概要を掴むことができる。
	○					ビジネス向けの単語の意味が分かる。
	○					英文書の関係性を説明することができる。
テキスト・教材 参考図書	新TOEICメガ模試、TOEIC TEST新形式精選模試リーディング・リスニング					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	2	リスニング(Part1 人物動作)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	3	リーディング(Part5 時制)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	4	リスニング(Part1 物の位置の表現)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	5	リーディング(Part5 品詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	6	リスニング(Part2 疑問文)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	7	リーディング(Part5 代名詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	8	リスニング(Part2 様々な答え方)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	9	リーディング(Part5 接続詞)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	10	リスニング(Part3 ビジネス会話)			復習テスト向けに復習を行う(1時間)	
	11	リーディング(Part5 イディオム)			復習テスト向けに復習を行う(1時間)	
	12	復習テスト			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	13	リスニング(Part3 ビジネス会話)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	14	リーディング(Part7 広告・入カフォーム)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	15	リスニング(Part3 図表問題)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	16	リーディング(Part7 チャット)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	17	リスニング(Part4 アナウンス)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	18	リーディング(Part7 ビジネスレター)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	19	リスニング(Part4 図表問題)			単語テストに向け該当箇所を覚える(0.5時間)	
	20	リーディング(Part7 Double/Triple Passage)			復習テスト向けに復習を行う(1時間)	
	21	復習テスト			間違った問題をやり直す(0.5時間)	
	22	TOEIC模試① Part1/2/7(Single)			間違った問題をやり直す(0.5時間)	
	23	TOEIC模試① Part3/7(Double)			間違った問題をやり直す(0.5時間)	
24	TOEIC模試① Part4/5/6			間違った問題をやり直す(0.5時間)		

	25	TOEIC模試② Part1/2/7(Single)					間違った問題をやり直す(0.5時間)
	26	TOEIC模試② Part3/7(Double)					間違った問題をやり直す(0.5時間)
	27	TOEIC模試② Part4/5/6					間違った問題をやり直す(0.5時間)
	28	TOEIC模試③ リーディング100問					間違った問題をやり直す(0.5時間)
	29	TOEIC模試③ リスニング100問					正試験に向け復習を行う(1時間)
	30	後期まとめ					正試験に向け復習を行う(1時間)
評価方法	(1)定期試験 (2)単語テスト(9回) (3)復習テスト(2回) 以上を、以下の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				50%
	単語テスト(筆記・9回)	○					10%
	復習テスト(筆記・2回)	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話						
科目名(英)	English Conversation						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	1.Raise students' English proficiency 2.Give students more confidence in using English 3.Workplace related English skills						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Raise students' English proficiency	
	○					Give students more confidence in using English	
	○					Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書	Speakout Elementary Book 1						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Get to know your teacher					
	2	1.1 Nice to meet you			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	3	1.2 Travel Light			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	4	1.3 Can I have a coffee?			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	5	Teacher's Lesson or 1.4 Fawltly Towers (needs TV/DVD)			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	6	1.5 Lookback/teacher's lesson			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	7	2.1 Join us			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	8	2.2 High Flyers			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	9	2.3 What time does it start?			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	10	Teacher's Lesson or 2.4 Chalet Girl (needs TV/DVD)			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	11	2.5 Lookback /Teacher's lesson			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	12	3.1 Just Good Friends			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	13	3.2 Big happy families			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
	14	Review and practice for speaking test			Preview lesson materials and review previous lesson(0.5h)		
15	Speaking test						
評価方法	(1)Test (2)Class participation (3)Attendance The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	Test	◎	○		○		50%
	Class participation	◎	○		○		25%
	Attendance	◎	○		○		25%
履修上の注意	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.						

科目名	社会教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	社会人としての基礎知識や自己管理能力の必要性を考える。また、入社前に事前課題を終了し入社に備える。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			社会人として必要な自己管理ができる。	
				○		集団行動を通して、リーダーシップを発揮することができる。	
				○		ボランティア活動に積極的に取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要・シラバス説明、目標設定					
	2	ボランティア活動を体験することで、その意味を考える					
	3	自己管理の重要性について考える					
	4	事前課題					
	5	航空業界で活躍する卒業生との交流会					
	6	事前課題					
	7	ボランティア活動を体験することで、その意味を考える					
	8	事前課題					
	9	航空業界で活躍する卒業生との交流会					
	10	事前課題					
	11	航空業界で活躍する卒業生との交流会					
	12	ボランティア活動を体験することで、その意味を考える					
	13	出社前講習①(専門用語)					
	14	出社前講習②(各企業事前課題)					
15	出社前講習③(各企業事前課題)						
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)小テスト 以上を、下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	小テスト	○					20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、不合格とする。						

科目名	ビジネスマナー演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	榎本 美和子		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行・航空業界にて接客業を経験		
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	幅広い年齢層の方に好まれる接遇を復習しながら、ロールプレイングによりコミュニケーション・接遇のスキルを定着させ更なる向上を図る。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					幅広い年齢層に応じた会話ができる。	
				○		また会いたいと思われる対応ができる。	
				○		お客様対応時の言葉遣い・所作ができる。	
	○					お客様の心理・要望を汲み取ろうとすることができる。	
	○					入社前に必要なマナー・意識・手続きを理解する。	
テキスト・教材 参考図書	「実践ビジネスマナー」ウィネット						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要・シラバス説明・学生から社会人への意識転換					
	2	話の聞き方・話の仕方・新入社員自己紹介			家庭や友人、アルバイト先で好まれる会話を実行しよう(1時間)		
	3	敬語演習(応用編)			アルバイト先で上司やお客様に意識的に敬語を使おう(1時間)		
	4	文書について・Eメール作成(わかりやすさ・温かさ・配慮)					
	5	入社手続きに必要な書類について					
	6	話の仕方(応用編)					
	7	往復はがきの書き方					
	8	各店頭でのお客様対応 ロープレ					
	9	お客様をお見送りする方法					
	10	冠婚葬祭マナー					
	11	電話のかけ方(基本～応用)			家庭やアルバイト先で積極的に電話に出よう(1時間)		
	12	電話の受け方(基本～応用)			家庭やアルバイト先で積極的に電話に出よう(1時間)		
	13	お茶・お菓子の出し方/いただき方			今日から、お茶やお菓子のマナーを守っていただきましょう。		
	14	後期のまとめ			苦手なところの見直し(0.5時間)		
15	目標とする社会人像と人生の送り方 発表			目標を意識して過ごそう。			
評価方法	(1)授業内期末試験 (2)実技テスト【2回】 以上を、以下の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	実技テスト			◎	○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						